

福島県ユニセフ協会

10周年の歩み



会長挨拶

(福島民報社相談役) 花田 勲

当協会は、2003年9月25日に国内13番目の地域組織として、誕生しました。現在、地域組織は全国24道府県に25の協定地域組織があります。

さて、その設立趣意書には、「明日を担う世界の子どもたちを取り巻く問題は、世界的課題の中でも対応が最も緊急かつ重要であり、そのことを解決することなしに、希望ある明日の世界を描くことはできません。」という記載がございます。原発震災に遭った福島県の子どもたちを取り巻く問題への対応は、まさに緊急かつ重要な課題のひとつです。

さらに趣意書では、県支部を設立することは、福島県におけるユニセフ協力活動がさらに大きな飛躍をすることを意味しています。そしてそのことは、世界の子どもたちの人権を守ることにつながるとともに、私たち自身にとっても大きな意義があるものと確信しております。と結んでありました。

設立当初の会員は約250人でした。300人以上を目指そうとこの10年間活動を進めてきましたが、残念ながらこの目標に至っていません。

2012年末では、設立当初から減少してしまい211人という結果になっています。

10周年を機に、300人会員を目指して、一層の飛躍を皆様方とともに確認したいものです。

また、この10年間に寄せられた募金総額は、一般募金 44,138,593円、緊急募金 58,406,556円、指定募金 18,000,000円、合計120,545,149円となっています。

2005年6月には、国内ではおそらく唯一と思われる当時県支部としての歌も発表されました。県歌謡協会のお蔭です。

2006年9月には、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんをお呼びして3周年記念のつどいが行われました。

2008年10月には、5周年を記念して国際医療支援活動をしている桑山紀彦氏をお呼びして地球のステージを開催しました。

10周年を迎える本年は、福島市に「子どもの権利条例」を制定するという計画を進めています。

またその一環として、創立10周年記念企画に、福島県文化センター小ホールにて、セーブザチルドレン・ジャパンのチャイルドライツセンター長であり、尚絅学院大学総合人間科学部現代社会科学科教授の森田明彦氏を講師に「こどもにやさしいまちづくり」というテーマで講演いただき、原発震災からの復興を子どもが目線で行うことや子どもの権利を尊重することの重要性について、参加者とともに考える時間としました。

講演後は、広島市を拠点に活動している安芸楽団の皆様による篠笛、琴、シンセサイザー、和太鼓等の織り成す「和風フュージョンサウンド」をお楽しみいただきます。

そして、さらに、「古典芸能の夕べ」と題して、福島市出身の遠藤千晶さんによる生田流箏曲、昨年設立された鹿児島県ユニセフ協会会長であり、鹿児島島の加治木島津家の当主でもある島津義秀さんによる薩摩琵琶を楽しんでいただく趣向としました。

ユニセフと古典芸能の組み合わせを不思議がられる方もおられるようですが、「国際性とは自国の文化や歴史を良く理解し、誇りを持ち、相手を認めることから始まる」とよく言われています。

皆様方の中には、外国人と接する機会が多いという方もおられるかと思います。

そうした時、外国人から日本そして日本文化を尋ねられたという経験をお持ちかと思います。

流暢な語学力があっても、自国の文化や歴史、特に歌舞伎や能・茶道、古典芸能など伝統文化を知らずしては外国人と対等に付き合うことなどできません。

そんなわけで、国際機関であるユニセフの活動を行う私たちも古典芸能に触れる機会があっても良いのではということで、企画しました。

これまでのご協力に感謝申し上げながら、今後のさらなるご理解とご協力をお願い申し上げます、挨拶と致します。

福島県ユニセフ協会 10周年の歩み



2003.9.25支部設立総会

2003 平成 15 年

- 2月17日 日本ユニセフ協会福島県支部設立発起人会開催
- 9月25日 日本ユニセフ協会福島県支部設立（全国13番目）総会開催「ユニセフ会員・支援者のつどい」約100名が参集
- 10月9日 設立記念「生きる 生きる4人のカメラマンが見つめた世界の子どもたち」ウィズもとまちで開催
- 12月 「ハンド・イン・ハンド」『女の子も学校へ』をテーマに県内3箇所（耶麻郡塩川町・福島市・白河市）で実施
- 1月 イラク地震緊急募金で300万円余りの募金が集まる
- 3月 会員数219人となった

2004 平成 16 年

- 9月1日 人身売買をなくそう！キャンペーン 原画展「子どもの権利を買わないで プンとミーチャのものがたり」開催
- 9月29日 「ユニセフのつどい2004inふくしま」60人が会す
- 10月13日 人身売買をなくそう！キャンペーン パネル展「深刻化する子どもの人身売買」
- 12月11日 「ハンド・イン・ハンド」『みんなで守る幼い命ー5歳の誕生日を笑顔で』をテーマに県内3箇所（福島市・白河市・会津坂下町）で実施
- 12月28日 スマトラ沖地震・津波緊急募金活動を行う
- 2月15日 未来を奪う「HIV/エイズ」撲滅キャンペーン写真展「HIV/エイズの危機と子どもたち」福島県支部ニュースNo 1 発行

2005 平成 17 年

- 6月29日 ユニセフの理念とめざすところを、歌詞と曲で表現した、日本ユニセフ協会福島県支部（現福島県ユニセフ協会）の歌「ユニセフは愛」を決定しました。
- 10月 パキスタン地震緊急募金
- 10月31日 「ユニセフのつどい2005 inふくしま」「市民レベルの災害支援のあり方を考える」をテーマに約130人参加で開催
- 12月18日 「ハンド・イン・ハンド」『手と手で結ぶ、子どもの未来』をテーマに県内4箇所（福島市・郡山市・喜多方市・白河市）で実施
- 2月22日 写真展「今、アフリカで起きていること」開催

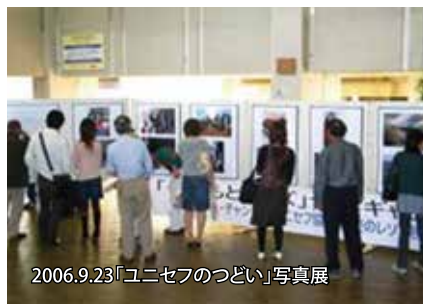


2006 平成 18 年

- 6月8日 ホームページ開設
- 7月 県内4箇所（喜多方市・白河市・郡山市・いわき市）で写真展&学習交流会を開催
- 9月23 設立3周年を記念して「ユニセフのつどい2007 in ふくしま」アグネス・チャン協力大使をお招き記念講演会「みんな地球に生きる人～日本の国際化と子どもの未来～」を開催、約800人の市民の皆さんが参加。
- 12月 「ハンド・イン・ハンド」『守りたい子どもの命、子どもの未来』をテーマに県内4箇所（郡山市・福島市・会津若松市・白河市）で実施
- 1月28日 写真展「同じ地球の空の下」開催、850余名の来場者がありました。



2006.12.「ハンド・イン・ハンド」



2006.9.23「ユニセフのつどい」写真展



2007.1.28写真展「同じ地球の空の下」

福島県ユニセフ協会10周年の歩み



2007.9.28「ユニセフのつどい」



2008.10.30「ユニセフのつどい」
「地球のステージ」公演



2009.11.9「ユニセフのつどい」
「子どもの権利条例」制定20周年記念

2007 平成 19 年

- 9月28日 「ユニセフのつどい2007 in ふくしま」が福島テルサを会場に約50名の参加のもとに開催、講師には(財)日本ユニセフ協会 団体・組織事業部の谷口光氏、東北HIVコミュニケーションズ代表小浜耕治氏をお招きしました。
- 10月14日 「ふくしま地球市民フェスティバル in あいづ」に出展参加しました。
- 11月30日 「福島県生協連ユニセフリーダー研修交流会」が労金大ホールにおいて組合員20名の参加で開催。テーマ「こどもたちのためにエイズと戦おう！」
- 12月28日 ユニセフ福島県支部「ユニセフハンド・イン・ハンド」県内4か所（郡山市、福島市、喜多方市、白河市）で実施
- 3月7日 「HIV/エイズ写真展&パネル展」延べ172名



2008 平成 20 年

- 6月 「中国四川省大地震・ミャンマーサイクロン被害・ガザ地区人道支援」などに各団体、県教育委員会の取組によりたくさんの募金が集まる
- 8月4日 「なくそう！子どもポルノ」キャンペーン、署名8万筆を超過。
- 10月30日 「ユニセフのつどい2008 in ふくしま」福島県支部設立5周年記念して、「地球のステージ」による公演。約430人が来場しました。
- 12月7日 ユニセフ 第30回ハンド・イン・ハンド 福島県下5か所（郡山市・いわき市・福島市・会津若松市・白河市）で実施
- 3月5日 ユニセフ・写真パネル展「アグネス・チャン大使の中国大地震視察記録」開催

2009 平成 21 年

- 5月29日 『2009 みんなあつまれハッピーランド』（ガールスカウト90周年イベント）福島市で開催。エイズ・マラリアについて広く周知する
- 11月9日 「子どもの権利条約」制定20周年記念「ユニセフのつどい2009 in ふくしま」が福島県文化センター小ホールで開催
- 12月9日 「結・ゆい・フェスタ2009」で～安全な水を世界の子供たちのために～をテーマに“ユニセフと水”パネル展で参加
- 12月18日 第31回ハンド・イン・ハンド 福島県下5か所(福島市・喜多方市・白河市・いわき市・郡山市)で実施
- 2月 「ハイチ大地震」などへの募金を団体、学校、マスコミなどに呼びかけを依頼



2010 平成 22 年

- 6月24日 ガールスカウト90周年全国一斉イベント、福島県3ブロックでユニセフ募金
- 10月6日 「子どもの権利条例」制定をめざして「ユニセフのつどい2010 in ふくしま」開催。「子どもの権利条例」が実のある条例になっている核心。
- 11月15日 「福島県ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」開催される。
- 12月10日 生協コープふくしま・郡山「ユニセフミニフェスティバル」で募金。
- 12月20日 ユニセフ 第32回ハンド・イン・ハンド 福島県下6会場で実施
- 3月7日 「中東・北アフリカ緊急募金」受付開始！
- 3月11日 「東日本大震災」、に続いて「福島第一原発事故」発生。募金が寄せられる。



福島県ユニセフ協会10周年の歩み

2011
平成 23 年

- 4月1日 日本ユニセフ協会は、「財団法人」から「公益財団法人」に変わり、これに伴い「福島県ユニセフ協会」（任意団体）として活動継続となった。
- 10月1日 「おもいっきり！そとあそび」プロジェクトを実施
- 10月12日 「福島市子どもの権利に関する条例」制定を求める請願書、福島市9月定例議会、全会派の賛成により採択
- 12月3日 「SOS! 栄養不足に苦しむ小さな命を守ろう」をテーマに第33回ハンド・イン・ハンド 福島県下6会場で実施
「東日本大震災・福島第一原発事故」被災への日本ユニセフ協会の対応を側面から支援する活動をする



2012
平成 24 年

- 「福島の子ども保養プロジェクト」本格始動
- 「東日本大震災」緊急募金に取り組む
- 4月25日 「福島市子どもの権利条例制定推進会議」発足
- 12月4日 第34回ハンド・イン・ハンド 福島県下6会場で実施



2011.9.9
「福島市子どもの権利に関する条例」制定を求める請願書を福島市9月定例議会へ提出



2006.12.「ハンド・イン・ハンド」



2007.12.「ハンド・イン・ハンド」会津若松市



2008.12.「ハンド・イン・ハンド」郡山市

10年の募金額

	一般募金 (円)	緊急募金 (円)	指定募金 (円)	会員数
2003年	6,400,846	3,081,379	2,000,000	250
2004年	2,840,113	13,711,685	2,000,000	219
2005年	4,035,715	7,581,663	2,000,000	255
2006年	4,800,170	4,892,749	1,600,000	254
2007年	4,287,554	881,283	1,600,000	241
2008年	3,018,917	12,116,442	1,600,000	235
2009年	4,135,110	8,741,136	1,800,000	232
2010年	13,627,403	1,647,419	1,800,000	231
2011年	86,600	5,583,033	1,800,000	186
2012年	906,165	169,767	1,800,000	211
合計	44,138,593	58,406,556	18,000,000	